



記者発表日 平成29年2月10日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

## 中国建設新技術レビュー第3号を発行します

～新企画「メンテナンス技術と新技術」をはじめました。～

本レビュー第3号では、新企画としてメンテナンス技術の紹介を始めました。また、平成28年度中国新技術普及促進顕彰で選定された工事の現場代理人と活用された新技術、新規に登録された新技術や直轄工事で活用された新技術の解説などを掲載しています。本紙は、今後も行政と施工者や開発者を繋ぐ建設新技術に関する情報を提供していきます。是非ともご一読下さい。

本号は、新企画「メンテナンス技術と新技術」をはじめ、12項目の多彩な内容をお届けします。新規に登録された技術においては、「スリット応力解放法」をはじめユニークな技術の解説が目白押しとなっています。

i-Construction では、中国地方整備局で活用を促進する「機械式鉄筋定着工法」の新技術6技術を紹介しています。

新企画の「メンテナンス技術と新技術」では、メンテナンス技術に対するNETISにおける取組みとメンテナンスロボットの開発例などを掲載しています。これまでの新技術活用ランキングの紹介、上位ランキング技術の解説、管内各事務(管理)所の新技術の活用状況、新技術を活用した現場の取材レポート等も内容を充実させています。

また、学識経験者による「新技術活用評価会議」で評価された新技術や産学官により開催されている「中国地方建設技術開発交流会」の開催状況などを紹介しています。

今後も、建設新技術の利活用に対する新しい情報を伝えることによって、新技術の導入や普及を応援し、建設事業の生産性向上に繋がるように情報を発信していきます。

■公開方法：中国技術事務所ホームページ

(<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/topics/review/>) (PDF 電子版 A4 縦)

中国技術事務所及び管内各事務(管理)所 新技術担当窓口 (誌面版 A4 縦)

■発刊時期：第3号 (vol.3) 平成29年2月20日

■備考：本誌の内容について取材を希望される場合は、事前に下記問合せ先までご連絡いただきますようお願いいたします。(配布無料。)

### 問 合 せ 先



#### 国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所

総括技術情報管理官

もり やま ひろし  
森 山 博

建設専門官

おか もと のぶ き  
岡 本 伸 城

住 所： 広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話： 082-822-2340 (代表)

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

# 中国建設新技術レビュー

## 第3号ひとこと解説

No	記事名	内容 (第3号)	備考 (第2号)
1	巻頭言	新技術の活用で工事現場の活性化 (技術開発調整官 中川 哲志)	(技術調整管理官 猪森 正一)
2	新規に登録された新技術 中国地方整備局登録 (平成 28 年10月 ~ 29 年1月)	鋼橋架設用現場用保持具「スプライスプレート保持具(SP チョーパン)」をはじめ6技術。	7技術
3	中国地方整備局における 新技術活用の進捗状況 (平成 28 年4月~11月)	11月期は、15 事務所 212 現場 813 技術、 9月期と比べ約 30%の増加。	(4月~9月)
4	平成 28 年度中国新技術普及促進顕彰の紹介	昨年度、最も多くの新技術を活用した工事 の現場代理人とその新技術、最も多くの工 事において活用された新技術。	—
5	中国ランキング上位技術の概要 ジョイントエース JA-40	コンクリート打設後の打継目処理の作業時 間の効率化を実現する技術。	(ディスプレイト (CR,ER,DV,DV-S))
6	新技術活用評価会議便り 平成 28 年度第3回	道路維持修繕に係る3技術をはじめ全6技 術を評価。	(第2回評価会議 全9技術)
7	シリーズ i-Construction ③全体最適の導入	全体最適の方向性と「機械式鉄筋定着工 法」の6技術を紹介。	(②ICT 土工)
8	新技術活用現場レポート KK シート工法	天然ヤシ繊維を用いた濁水処理技術、濁 度の低減及びpH処理について高い評価。	(環境配慮型濁水処理 フィルター工法)
9	中国地方建設技術開発交流会を 実施しました。	岡山県の産業界、大学等研究機関、官公 庁から9件の研究成果の発表	(山口県、島根県、広島県開催)
10	メンテナンス技術と新技術	<b>新企画</b> メンテナンスへの取組みと NETIS の関連、 メンテナンスと長寿命化、開発例	—
11	新技術活用と防災技術の接点	災害時に活用される技術の概要と水防工 法の中から新技術を紹介	(災害時に活用される技術の概 要と水防工法の新技術)